

Q9. 年間を通じて、貴組織の運営に従事している事務局の人数(兼務者を含む)をご記入ください。

① 合計 人

② 上記人数の内訳をご記入ください。

a. 事務局専従※の職員		b. 大学等の教職員		c. 経済団体の職員	
フルタイム	パートタイム	フルタイム	パートタイム	フルタイム	パートタイム
()人	()人	()人	()人	()人	()人
d. 企業の職員		e. 自治体の職員		f. その他	
フルタイム	パートタイム	フルタイム	パートタイム	フルタイム	パートタイム
()人	()人	()人	()人	()人	()人

※事務局専従・・・所属に関わらず専ら事務局業務に従事する人。
※フルタイムかパートタイムかは当該職員の連携組織における勤務形態でお答えください。

Q10. 貴組織の年間予算額をお選びください。(ひとつに○)

1. 100万円未満 2. 100万円以上～300万円未満 3. 300万円以上～500万円未満
4. 500万円以上～1,000万円未満 5. 1,000万円以上～3,000万円未満 6. 3,000万円以上

Q11. 年間予算額に対する機関別の負担割合をご記入ください。

(機関別の合計が全体で100%になるようご記入ください(概算でも差し支えございません))

機関	a. 大学等	b. 経済団体	c. 企業	d. 自治体	e. その他
年間予算額に対する割合	()%	()%	()%	()%	()%

ここからは連携組織の活動についてお伺いいたします。

Q12. 下記の活動の中で、貴組織が大学や企業を対象に実施しているものをお選びください。(いくつでも○)

また、その活動の効果の程度についてお選びください。

活動	実施に ○	活動の効果(それぞれひとつに○)			
		1. 期待以上の効果が 出ている	2. 期待通りの効果が 出ている	3. どちらも いえない	4. 期待した 効果が 出していない
a. インターンシップの仲介					
b. PBL(課題解決型学習)					
c. キャリア講座(社会人による出前講座等)					
d. バスツアー・企業見学					
e. 学生向けセミナー (インターンシップ参加促進セミナー等)					
f. インターンシップ合同説明会					
g. 学生向け事前研修					
h. 学生向け事後研修・成果報告会					
i. 企業向け研修(インターンシップ受入研修等)					
j. 教材の開発・ハンドブックの作成					
k. 専門人材(コーディネーター)※の育成					
l. 大学教職員向け研修(FD/SD)					
m. その他()					

※専門人材とは・・・インターンシップ等を実施するため、大学や企業との関係構築や、プログラムの調整、学生相談などを担当する人材。

Q13. 貴組織が実施しているインターンシップ(高校生以下を対象としたものを除く)の昨年度と今年度の実績をご記入ください。

年度	a. 学生数		b. 受入企業・団体数		c. 参加校数
	①エントリー数	②マッチング数	①エントリー数	②マッチング数	
昨年度	()人	()人	()社	()社	()校
今年度※	()人	()人	()社	()社	()校

※アンケート回答時点の実績をご記入ください。

ここからは連携組織としての評価や連携状況についてお伺いいたします。

Q14. 貴組織に参画している各機関の連携度合いは総合的に見てどのような状況ですか。(ひとつに○)

1. 連携できている 2. ある程度連携できている 3. 連携に向けて動き出したところ
4. どちらともいえない 5. あまり連携できていない

Q15. 連携体制を構築していく上で、貴組織は地域や参画している機関からの期待に応えられていますか。(ひとつに○)

1. 期待に応えられている 2. ある程度期待に応えられている 3. どちらともいえない
4. あまり期待に応えられていない 5. 期待に応えられていない

Q16. 大学等、経済団体、企業、自治体のそれぞれに関して、貴組織との連携度合いの評価※を選び、その理由をご記入ください。

(※1:連携できている、2:ある程度連携できている、3:どちらともいえない、4:あまり連携できていない、5:連携できていない)

機関	連携度合いの評価※ (それぞれひとつに○)					評価の理由
	1	2	3	4	5	
a. 大学等						
b. 経済団体						
c. 企業						
d. 自治体						

Q17. 貴組織の活動を今後継続していく上で、下記の項目について、課題として認識している程度をお選びください。（それぞれひとつに○）

	1. 大きな課題 となっている	2. やや課題と なっている	3. あまり課題と なっていない	4. 課題と なっていない	5. 分からない
a. 予算の確保					
b. 人員の確保					
c. 関係者の参画意識					
d. キーパーソンの去就・後継					
e. 参加校数の拡大					
f. 参加学生数の拡大					
g. 参加企業・団体数の拡大					
h. インターンシップマッチング率の向上					
i. 学生の参加意欲					
j. プログラムの企画・改善					
k. 専門人材の確保・育成					
l. 関係者間のノウハウの共有					
m. 成果の創出・明確化					
n. その他()					

Q18. 貴組織の維持・発展に向けた、中長期的な方針や運営計画等の状況についてお選びください。（ひとつに○）

1. 明確に設定している 2. 大まかに設定している 3. 議論・検討している
4. 設定したいが議論・検討ができていない 5. 特に設定するつもりはない

Q19. 連携組織を継続していくために、必要と感じていることをご自由にご記入ください。

Q20. 参考にしている連携組織があればご記入ください。

Q21. 本調査の結果概要等の送付をご希望の方へはメールにてお送りいたします。ご希望の方は送付先のお名前・ご所属の部署、メールアドレス、電話番号をご記入ください。

※ご記入いただいた情報は、本調査結果概要の送付、シンポジウムの開催のご案内等本調査目的でのみ使用し、本調査以外の目的では使用しません。

お名前・ご所属 : _____

メールアドレス : _____ @ _____

電話番号 : _____ (_____) _____ - _____

※メールアドレスを確認させていただく場合がございます。差し支えなければご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

産学協働インターンシップ等の連携実態調査【大学】

本調査は、産学協働によるインターンシップ等の実施に関して、企業、大学等の教育機関、自治体・公的機関がそれぞれの立場を超えて協働している連携組織※の実態調査です。連携組織に参加していない場合も回答のご協力をお願いいたします。

※本調査の連携組織について…「インターンシップ推進協議会」「コンソーシアム」など、地域の大学等の教育機関、経済団体・企業、自治体・公的機関等から複数の機関が連携してインターンシップ等の産学協働教育を実施するために構築された組織のことを指します。

はじめに、**貴学**についてお聞きします。

F1. 貴学名をご記入ください。 大学

F2. 設置者をお選びください。(ひとつに○) 1. 国立 2. 公立 3. 私立

F3. メインキャンパス(本部)所在地をお選びください。(ひとつに○)

- 1. 北海道 2. 青森県 3. 岩手県 4. 宮城県 5. 秋田県 6. 山形県 7. 福島県
- 8. 茨城県 9. 栃木県 10. 群馬県 11. 埼玉県 12. 千葉県 13. 東京都 14. 神奈川県
- 15. 新潟県 16. 富山県 17. 石川県 18. 福井県 19. 山梨県 20. 長野県 21. 岐阜県
- 22. 静岡県 23. 愛知県 24. 三重県 25. 滋賀県 26. 京都府 27. 大阪府 28. 兵庫県
- 29. 奈良県 30. 和歌山県 31. 鳥取県 32. 島根県 33. 岡山県 34. 広島県 35. 山口県
- 36. 徳島県 37. 香川県 38. 愛媛県 39. 高知県 40. 福岡県 41. 佐賀県 42. 長崎県
- 43. 熊本県 44. 大分県 45. 宮崎県 46. 鹿児島県 47. 沖縄県

F4. 現在、在籍している学生数をお選びください。(ひとつに○)

- 1. 1,000 人以下 2. 1,001～2,000 人 3. 2,001～5,000 人
- 4. 5,001～10,000 人 5. 10,001 人以上

ここからは**連携組織**への参加状況についてお伺いいたします。

Q1. 貴学のメインキャンパス所在地(都道府県)にある連携組織についてお答えください。

- (A) ご存知の連携組織の名称をご記入ください。(複数回答可)
- (B) 現在、貴学が参加している連携組織をお選びください。(いくつでも○)
→現在、連携組織に参加していない場合は Q7へお進みください
- (C)(B)の中で「最も積極的に関わっている連携組織」をひとつお選びください。(ひとつに○)
(次設問以降はその連携組織についてお答えください)

(A) ご存知の連携組織	(B) 参加している 連携組織に○	(C) 最も積極的に関わっ ている連携組織に○

Q2. Q1の(C)で回答の連携組織の連絡窓口となっている貴学の部門がお分かりでしたらご記入ください。

Q3. 連携組織への参加時期(西暦)をご記入ください。

年

Q4. 貴学が連携組織に参加することになったきっかけ(経緯)をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 連携組織の設立を主体的に行った | 2. 既存の連携組織に自ら参加した |
| 3. 自治体からの紹介・勧誘 | 4. 経済団体からの紹介・勧誘 |
| 5. 他大学からの紹介・勧誘 | 6. 連携組織からの紹介・勧誘 |
| 7. 分からない | |
| 8. その他() | |

Q5. 貴学が連携組織に参加している目的の上位3つをお選びください。(3つに○)

1. インターンシップ受入企業数の増加につながる
2. PBL(課題解決型学習)・社会人による出前講座等の連携先開拓につながる
3. 他大学とノウハウを共有することができる
4. 学生の地域への関心を高めることができる
5. インターンシップ等のコーディネート業務を効率化できる
6. 教職員の育成につながる
7. 専門人材(コーディネーター)※の育成につながる
8. 自校の産学協働教育プログラムの見直しにつながる
9. その他()

※専門人材(コーディネーター)…インターンシップ等を実施するため、大学や企業との関係構築や、プログラムの調整、学生相談などを担当する人材

Q6. 貴学の連携組織への関わり方をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1. 連携組織の運営方針を決める会議に参加している | |
| 2. 連携組織で取り組むプログラムの企画・開発に参加している | |
| 3. 連携組織で取り組むプログラムに参加している | |
| 4. 運営予算を提供している | 5. 人員を提供している |
| 6. その他() | |

→Q11へお進みください

【現在、連携組織に参加していない方のみ】

Q7. これまでに連携組織に参加していたことがありますか。(ひとつに○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 参加していたことがある | →Q8へお進みください |
| 2. 参加したことがない | →Q9へお進みください |

【Q7で「1」と回答の方のみ】

Q8. 現在、連携組織に参加していない理由をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 参加の効果が感じられなかったため | 2. 参加していた事業が終了したため |
| 3. 予算の折り合いがつかなかったため | 4. 人員の折り合いがつかなかったため |
| 5. 自校だけで産学連携が十分にできているため | |
| 6. 学内(組織内)の理解が得られなかったため | |
| 7. その他() | |

→Q10へお進みください

【Q7で「2」と回答の方のみ】

Q9. 連携組織に参加したことがない理由をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 参加することの意義が感じられないため | 2. 参加するきっかけがないため |
| 3. 予算の折り合いがつかないため | 4. 人員の折り合いがつかないため |
| 5. 自校だけで産学連携が十分にできているため | 6. 学内(組織内)の理解が得られていないため |
| 7. その他() | |

【現在、連携組織に参加していない方のみ】

Q10. 連携組織への今後の参加意向をお選びください。(ひとつに○)

1. 参加したい 2. 参加を検討する 3. 参加しない 4. 分からない
→Q18へお進みください

ここからは連携組織への評価・今後の意向についてお伺いいたします。

Q11. 連携組織に参加していることへの総合的な満足度をお選びください。(ひとつに○)

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらともいえない
4. やや不満である 5. 不満である

Q12. 下記の中で、貴学が協力・参加している連携組織の活動をお選びください。(いくつでも○)

また、その活動の効果の程度についてお選びください。

活動	協力・参加しているものに○	活動の効果(それぞれひとつに○)			
		1. 期待以上の効果が出ている	2. 期待通りの効果が出ている	3. どちらともいえない	4. 期待した効果が出ていない
a. インターシップの仲介					
b. PBL(課題解決型学習)					
c. キャリア講座 (社会人による出前講座等)					
d. バスツアー・企業見学					
e. 学生向けセミナー (インターシップ参加促進セミナー等)					
f. インターシップ合同説明会					
g. 学生向け事前研修					
h. 学生向け事後研修・成果報告会					
i. 企業向け研修 (インターシップ受入研修等)					
j. 教材の開発・ハンドブックの作成					
k. 専門人材(コーディネーター)の育成					
l. 大学教職員向け研修(FD/SD)					
m. その他 ()					

Q13. 連携組織に参画している各機関の連携度合いは総合的に見てどのような状況ですか。(ひとつに○)

1. 連携できている 2. ある程度連携できている 3. 連携に向けて動き出したところ
4. どちらともいえない 5. あまり連携できていない

Q14. 連携組織の取組に学生が参加することで、地域への理解・関心が深まりましたか。(ひとつに○)

1. おおいに深まった 2. ある程度深まった 3. 変化がなかった 4. 分からない

Q15. 連携組織は地域や参画している機関からの期待に応えられていますか。(ひとつに○)

1. 期待に応えられている 2. ある程度期待に応えられている 3. どちらともいえない
4. あまり期待に応えられていない 5. 期待に応えられていない

Q16. 連携組織の活動を継続していく上で、下記の項目について、課題として認識している程度をお選びください。(それぞれひとつに○)

	1. 大きな課題となっている	2. やや課題となっている	3. あまり課題となっていない	4. 課題となっていない	5. 分からない
a. 予算の確保					
b. 人員の確保					
c. 関係者の参画意識					
d. キーパーソンの去就・後継					
e. 参加校数の拡大					
f. 参加学生数の拡大					
g. 参加企業・団体数の拡大					
h. インターンシップマッチング率の向上					
i. 学生の参加意欲					
j. プログラムの企画・改善					
k. 専門人材の確保・育成					
l. 関係者間のノウハウの共有					
m. 成果の創出・明確化					
n. その他()					

Q17. 連携組織を継続していくために、必要と感じていることをご自由にご記入ください。

Q18. 産学連携によるインターンシップ等の取組で、参考にしている大学・連携組織があればご記入ください。

Q19. 本調査の結果概要等の送付をご希望の方へはメールにてお送りいたします。ご希望の方は送付先のお名前・ご所属の部署、メールアドレス、電話番号をご記入ください。

※ご記入いただいた情報は、本調査結果概要の送付、シンポジウム開催のご案内等本調査目的のみで使用し、本調査以外の目的では使用しません。

お名前・ご所属 : _____

メールアドレス : _____ @ _____

電話番号 : _____ (_____) _____

※メールアドレスを確認させていただく場合がございます。差し支えなければご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

産学協働インターンシップ等の連携実態調査【経済団体】

本調査は、産学協働によるインターンシップ等の実施に関して、企業、大学等の教育機関、自治体・公的機関がそれぞれの立場を超えて協働している連携組織※の実態調査です。連携組織に参加していない場合も回答のご協力をお願いいたします。

※本調査の連携組織について…「インターンシップ推進協議会」「コンソーシアム」など、地域の大学等の教育機関、経済団体・企業、自治体・公的機関等から複数の機関が連携してインターンシップ等の産学協働教育を実施するために構築された組織のことを指します。

はじめに、**貴団体**についてお聞きします。

F1. 貴団体名をご記入ください。

F2. 所在地をお選びください。(ひとつに○)

- 1. 北海道 2. 青森県 3. 岩手県 4. 宮城県 5. 秋田県 6. 山形県 7. 福島県
- 8. 茨城県 9. 栃木県 10. 群馬県 11. 埼玉県 12. 千葉県 13. 東京都 14. 神奈川県
- 15. 新潟県 16. 富山県 17. 石川県 18. 福井県 19. 山梨県 20. 長野県 21. 岐阜県
- 22. 静岡県 23. 愛知県 24. 三重県 25. 滋賀県 26. 京都府 27. 大阪府 28. 兵庫県
- 29. 奈良県 30. 和歌山県 31. 鳥取県 32. 島根県 33. 岡山県 34. 広島県 35. 山口県
- 36. 徳島県 37. 香川県 38. 愛媛県 39. 高知県 40. 福岡県 41. 佐賀県 42. 長崎県
- 43. 熊本県 44. 大分県 45. 宮崎県 46. 鹿児島県 47. 沖縄県

F3. 貴団体の会員企業数をお選びください。(ひとつに○)

- 1. 300社以下 2. 301～500社 3. 501～1,000社 4. 1,001社以上

ここからは**連携組織**への参加状況についてお伺いいたします。

Q1. 貴団体の所在地(都道府県)にある連携組織についてお答えください。

- (A)ご存知の連携組織の名称をご記入ください。(複数回答可)
- (B)現在、貴団体が参加している連携組織をお選びください。(いくつでも○)
→現在、連携組織に参加していない場合は Q7へお進みください
- (C)(B)の中で「最も積極的に関わっている連携組織」をひとつお選びください。(ひとつに○)
(次設問以降はその連携組織についてお答えください)

(A) ご存知の連携組織	(B) 参加している 連携組織に○	(C) 最も積極的にかかわっ ている連携組織に○

Q2. Q1の(C)で回答の連携組織の連絡窓口となっている貴団体の部署がお分かりでしたらご記入ください。

Q3. 連携組織への参加時期(西暦)をご記入ください。

--

年

Q4. 貴団体が連携組織に参加することになったきっかけ(経緯)をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 連携組織の設立を主体的に行った | 2. 既存の連携組織に自ら参加した |
| 3. 自治体からの紹介・勧誘 | 4. 他の経済団体からの紹介・勧誘 |
| 5. 大学からの紹介・勧誘 | 6. 連携組織からの紹介・勧誘 |
| 7. 分からない | |
| 8. その他() | |

Q5. 貴団体が連携組織に参加している目的の上位3つをお選びください。(3つに○)

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 会員企業のインターンシップ受入促進につながる | 3. 会員企業間でノウハウを共有することができる |
| 2. 大学と連携して地域の人材の育成ができる | 4. 会員企業が学生を理解することにつながる |
| 5. 会員企業の新卒採用につながる | 6. 会員企業の社員の育成につながる |
| 7. 学生の地域への関心を高めることができる | 8. 企業のインターンシップ受入等の支援を効率的に実施できる |
| 9. 専門人材(コーディネーター)※の育成につながる | 10. その他() |

※専門人材(コーディネーター)…インターンシップ等を実施するため、大学や企業との関係構築や、プログラムの調整、学生相談などを担当する人材

Q6. 貴団体の連携組織への関わり方をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1. 連携組織の運営方針を決める会議に参加している | |
| 2. 連携組織で取り組むプログラムの企画・開発に参加している | |
| 3. 連携組織で取り組むプログラムに参加している | |
| 4. 運営予算を提供している | 5. 人員を提供している |
| 6. その他() | |

→Q11 へお進みください

【現在、連携組織に参加していない方のみ】

Q7. これまでに連携組織に参加していたことがありますか。(ひとつに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 参加していたことがある | →Q8 へお進みください |
| 2. 参加したことがない | →Q9 へお進みください |

【Q7で「1」と回答の方のみ】

Q8. 現在、連携組織に参加していない理由をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 参加の効果が感じられなかったため | 2. 参加していた事業が終了したため |
| 3. 予算の折り合いがつかなかったため | 4. 人員の折り合いがつかなかったため |
| 5. 自団体だけで産学連携が十分にできているため | |
| 6. 団体内(会員企業間)の理解が得られなかったため | 7. 会員企業のニーズと異なっていたため |
| 8. その他() | |

→Q10 へお進みください

【Q7で「2」と回答の方のみ】

Q9. 連携組織に参加したことがない理由をお選びください。(いくつでも○)

- 1. 参加することの意義が感じられないため
- 2. 参加するきっかけがないため
- 3. 予算の折り合いがつかないため
- 4. 人員の折り合いがつかないため
- 5. 自団体だけで産学連携が十分にできているため
- 6. 団体内(会員企業間)の理解が得られていないため
- 7. 会員企業のニーズと異なるため
- 8. その他()

【現在、連携組織に参加していない方のみ】

Q10. 連携組織への今後の参加意向をお選びください。(ひとつに○)

- 1. 参加したい
- 2. 参加を検討する
- 3. 参加しない
- 4. 分からない

→Q18へお進みください

ここからは連携組織への評価・今後の意向についてお伺いいたします。

Q11. 連携組織に参加していることへの総合的な満足度をお選びください。(ひとつに○)

- 1. 満足している
- 2. やや満足している
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満である
- 5. 不満である

Q12. 下記の中で、貴団体が協力・参加している連携組織の活動をお選びください。(いくつでも○)

また、その活動の効果の程度についてお選びください。

活動	協力・参加しているものに○	活動の効果(それぞれひとつに○)			
		1. 期待以上の効果が出ている	2. 期待通りの効果が出ている	3. どちらともいえない	4. 期待した効果が出ない
a. インターンシップの仲介					
b. PBL(課題解決型学習)					
c. キャリア講座 (社会人による出前講座等)					
d. バスツアー・企業見学					
e. 学生向けセミナー (インターンシップ参加促進セミナー等)					
f. インターンシップ合同説明会					
g. 学生向け事前研修					
h. 学生向け事後研修・成果報告会					
i. 企業向け研修 (インターンシップ受入研修等)					
j. 教材の開発・ハンドブックの作成					
k. 専門人材(コーディネーター)の育成					
l. 大学教職員向け研修(FD/SD)					
m. その他 ()					

Q13. 連携組織に参画している各機関の連携度合いは総合的に見てどのような状況ですか。(ひとつに○)

- 1. 連携できている
- 2. ある程度連携できている
- 3. 連携に向けて動き出したところ
- 4. どちらともいえない
- 5. あまり連携できていない

産学協働インターンシップ等の連携実態調査【自治体】

本調査は、産学協働によるインターンシップ等の実施に関して、企業、大学等の教育機関、自治体・公的機関がそれぞれの立場を超えて協働している連携組織※の実態調査です。連携組織に参加していない場合も回答のご協力をお願いいたします。

※本調査の連携組織について…「インターンシップ推進協議会」「コンソーシアム」など、地域の大学等の教育機関、経済団体・企業、自治体・公的機関等から複数の機関が連携してインターンシップ等の産学協働教育を実施するために構築された組織のことを指します。

はじめに、**貴自治体**についてお聞きします。

F1. 貴自治体名をご記入ください。

F2. 所在地をお選びください。(ひとつに○)

- 1. 北海道 2. 青森県 3. 岩手県 4. 宮城県 5. 秋田県 6. 山形県 7. 福島県
- 8. 茨城県 9. 栃木県 10. 群馬県 11. 埼玉県 12. 千葉県 13. 東京都 14. 神奈川県
- 15. 新潟県 16. 富山県 17. 石川県 18. 福井県 19. 山梨県 20. 長野県 21. 岐阜県
- 22. 静岡県 23. 愛知県 24. 三重県 25. 滋賀県 26. 京都府 27. 大阪府 28. 兵庫県
- 29. 奈良県 30. 和歌山県 31. 鳥取県 32. 島根県 33. 岡山県 34. 広島県 35. 山口県
- 36. 徳島県 37. 香川県 38. 愛媛県 39. 高知県 40. 福岡県 41. 佐賀県 42. 長崎県
- 43. 熊本県 44. 大分県 45. 宮崎県 46. 鹿児島県 47. 沖縄県

ここからは**連携組織への参加状況**についてお伺いいたします。

- Q1. 貴自治体の都道府県にある連携組織についてお答えください。**
(A) ご存知の連携組織の名称をご記入ください。(複数回答可)
(B) 現在、貴自治体に参加している連携組織をお選びください。(いくつでも○)
 →現在、連携組織に参加していない場合は Q7へお進みください
(C) (B)の中で「最も積極的に関わっている連携組織」をひとつお選びください。(ひとつに○)
(次設問以降はその連携組織についてお答えください)

(A) ご存知の連携組織	(B) 参加している 連携組織に○	(C) 最も積極的に関わって いる連携組織に○

Q2. Q1の(C)で回答の連携組織の連絡窓口となっている貴自治体の部署がお分かりでしたらご記入ください。

Q3. 連携組織への参加期間(西暦)をご記入ください。

--

 年

Q4. 貴自治体が連携組織に参加することになったきっかけ(経緯)をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 連携組織の設立を主体的に行った | 2. 既存の連携組織に自ら参加した |
| 3. 他の自治体からの紹介・勧誘 | 4. 経済団体からの紹介・勧誘 |
| 5. 大学からの紹介・勧誘 | 6. 連携組織からの紹介・勧誘 |
| 7. 分からない | |
| 8. その他() | |

Q5. 貴自治体が連携組織に参加している目的の上位 3 つをお選びください。(3 つに○)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 企業のインターンシップ受入促進につながる | |
| 2. 産学が連携して地域の人材の育成ができる | |
| 3. 学生の地域への定着につながる | 4. 学生の地域への関心を高めることができる |
| 5. 産学官の連携強化につながる | 6. 地域の活性化や魅力の向上につながる |
| 7. 専門人材(コーディネーター)※の育成につながる | |
| 8. その他() | |

※専門人材(コーディネーター)…インターンシップ等を実施するため、大学や企業との関係構築や、プログラムの調整、学生相談などを担当する人材

Q6. 貴自治体の連携組織への関わり方をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1. 連携組織の運営方針を決める会議に参加している | |
| 2. 連携組織で取り組むプログラムの企画・開発に参加している | |
| 3. 連携組織で取り組むプログラムに参加している | |
| 4. 運営予算を提供している | 5. 人員を提供している |
| 6. その他() | |

→Q11 へお進みください

【現在、連携組織に参加していない方のみ】

Q7. これまで連携組織に参加していたことがありますか。(ひとつに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 参加していたことがある | →Q8 へお進みください |
| 2. 参加したことがない | →Q9 へお進みください |

【Q7で「1」と回答の方のみ】

Q8. 現在、連携組織に参加していない理由をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 参加の効果が感じられなかったため | 2. 参加していた事業が終了したため |
| 3. 予算の折り合いがつかなかったため | 4. 人員の折り合いがつかなかったため |
| 5. 現状の取組で産学連携が十分にできているため | |
| 6. 組織内の理解が得られなかったため | 7. 自治体の方針と異なっていたため |
| 8. その他() | |

→Q10 へお進みください

【Q7で「2」と回答の方のみ】

Q9. 連携組織に参加したことがない理由をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 参加することの意義が感じられないため | 2. 参加するきっかけがないため |
| 3. 予算の折り合いがつかないため | 4. 人員の折り合いがつかないため |
| 5. 現状の取組で産学連携が十分にできているため | |
| 6. 組織内の理解が得られていないため | 7. 自治体の方針と異なるため |
| 8. その他() | |

【現在、連携組織に参加していない方のみ】

Q10. 連携組織への今後の参加意向をお選びください。(ひとつに○)

1. 参加したい 2. 参加を検討する 3. 参加しない 4. 分からない

→Q18へお進みください

ここからは連携組織への評価・今後の意向についてお伺いいたします。

Q11. 連携組織に参加していることへの総合的な満足度をお選びください。(ひとつに○)

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらともいえない
4. やや不満である 5. 不満である

Q12. 下記の中で、貴自治体が協力・参加している連携組織の活動をお選びください。(いくつでも○)

また、その活動の効果の程度についてお選びください。

活動	協力・参加しているものに○	活動の効果(それぞれひとつに○)			
		1. 期待以上の効果が出ている	2. 期待通りの効果が出ている	3. どちらともいえない	4. 期待した効果が出ていない
a. インターンシップの仲介					
b. PBL(課題解決型学習)					
c. キャリア講座(社会人による出前講座等)					
d. バスツアー・企業見学					
e. 学生向けセミナー(インターンシップ参加促進セミナー等)					
f. インターンシップ合同説明会					
g. 学生向け事前研修					
h. 学生向け事後研修・成果報告会					
i. 企業向け研修(インターンシップ受入研修等)					
j. 教材の開発・ハンドブックの作成					
k. 専門人材(コーディネーター)の育成					
l. 大学教職員向け研修(FD/SD)					
m. その他()					

Q13. 連携組織に参画している各機関の連携度合いは総合的に見てどのような状況ですか。(ひとつに○)

1. 連携できている 2. ある程度連携できている 3. 連携に向けて動き出したところ
4. どちらともいえない 5. あまり連携できていない

Q14. 連携組織の取組に学生が参加することで、地域への理解・関心が深まりましたか。(ひとつに○)

1. おおいに深まった 2. ある程度深まった 3. 変化がなかった 4. 分からない

Q15. 連携組織は地域や参画している機関からの期待に応えられていますか。(ひとつに○)

1. 期待に応えられている 2. ある程度期待に応えられている 3. どちらともいえない
4. あまり期待に応えられていない 5. 期待に応えられていない

Q16. 連携組織の活動を継続していく上で、下記の項目について、課題として認識している程度をお選びください。(それぞれひとつに○)

	1. 大きな課題となっている	2. やや課題となっている	3. あまり課題となっていない	4. 課題となっていない	5. 分からない
a. 予算の確保					
b. 人員の確保					
c. 関係者の参画意識					
d. キーパーソンの去就・後継					
e. 参加校数の拡大					
f. 参加学生数の拡大					
g. 参加企業・団体数の拡大					
h. インターンシップマッチング率の向上					
i. 学生の参加意欲					
j. プログラムの企画・改善					
k. 専門人材の確保・育成					
l. 関係者間のノウハウの共有					
m. 成果の創出・明確化					
n. その他()					

Q17. 連携組織を継続していくために、必要と感じていることをご自由にご記入ください。

Q18. 産学協働インターンシップ等の実施において、参考にしている自治体・連携組織があればご記入ください。

Q19. 本調査の結果概要等の送付をご希望の方へはメールにてお送りいたします。ご希望の方は送付先のお名前・ご所属の部署、メールアドレス、電話番号をご記入ください。

※ご記入いただいた情報は、本調査結果概要の送付、シンポジウム開催のご案内等本調査目的のみで使用し、本調査以外の目的では使用しません。

お名前・ご所属 : _____

メールアドレス : _____ @ _____

電話番号 : _____ (_____) _____

※メールアドレスを確認させていただく場合がございます。差し支えなければご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。